夢の頂へ 快進撃 東海ボーイズ準優勝

第49回日本少年野球選手権大会

代表　加藤 剛司
監督　志賀 裕一
顧問　徳浪 一雄
コーチ　金井 慎司
コーチ　上村 慎一
コーチ　甲　浩里
副代表　日榮 武一
副代表　奈良 嘉昭
副代表　飛永 慎二
副代表　北山 靖洋

厳しい支部予選を勝ち抜いて全国大会のキップを手に入れました。支部の代表として何とか最終日まで勝ち残る事を目標に、選手・スタッフ・父兄が一丸となり１戦必勝で戦った結果、準優勝という輝かしい名誉を手にする事ができました。どの試合も一進一退の攻防が続く中、大きな声を出し頑張って勝ち進んできた選手達に感謝しています。

監督　志賀 裕一

0　モイセエフ　ニキータ

全国大会で良かった事は、難しいゴロが来たけどライトゴロでアウトにしたこと。優勝するためには、決勝で自分がノーヒットだから、春ではどんなピッチャーからでも打てるように頑張る。

2 小倉浩武

僕は、この全国大会は、3回目の挑戦です。初戦相手の世田谷ボーイズは、優勝候補と聞いたので、絶対に勝ちたいと思って戦いました。一回戦、延長戦になった時に、2年前の中百舌鳥戦のサヨナラ負けを思い出しました。勝つ事だけ考えてキャッチャーをやりました。試合が終わった時は、すごくうれしかったです。この全国大会の思い出は、セカンドで盗塁を刺せた事！スリーベースを打てた事！です。決勝戦、最後のバッターになってしまったので、これからの目標は、勝負強さをつけたいです。

22 早川　空

全国大会の思いでは初戦の世田谷ボーイズ戦でサヨナラヒットを打った事です。春に全国大会制覇出来るようにこれからもっと練習に集中していきます。

37 小野寺 生馬

夏の全国大会の思いでは決勝戦でヒットを打てた事です。春の全国大会の目標は 2塁打以上を打って全国大会優勝に貢献したいです。

51 竹内　斡

世田谷ボーイズ戦でチーム初ヒットを打てた事サヨナラのランナーになれた事が思いでです。春の全国大会でチーム一丸となり、練習し努力し１人１人がレベルアップして全員で勝ち切れるように頑張ります。

4　稲葉心平

決勝戦で負けて悔しかったです。中でも、僕が出られなかった事が1番悔しかったです。もっと練習して、試合に出られる様な選手になりたいです。次は優勝出来るようにいっぱい声を出して応援したいです。

21藤田崇矢

僕が一番印象に残っている事は 4戦中2回サヨナラHで勝った事です。春に向けて、今度は全国優勝出来る様リベンジしたいです。

8 榊原峻平 ２年生

全国大会の思いでは３試合目で寛生さんのサヨナラヒットです。これからはいつも言われてる挨拶と行動を早くすることを心掛け、春の全国大会には出来るようにしたいです。

6 猪飼康輔　主将

決勝までいって負けたことが悔しかったです。春の全国大会に向けもっとチームワークを良くしていきたいです。

1　伊藤大成

初戦はピッチングが良く,無失点に抑えられてよかった。その他の試合も,みんな気持が入っていて勝てたと思います。だけど決勝戦はいまいちみんなの気持が足りなかったと思います。自分自身の足りない事は,球速,キレが足りなかったです。これからは、いっぱい走り込んで下半身、スタミナをつけホームを固めて勝ちまくります。

3　深見　功建

今大会では、ヒットを打ち一番バッターに繋げる事ができ、守備ではカットマンにしっかり返す事が出来ました。春の全国大会に向け自主練習(とくに素振り)に力を入れ、練習時のノックではこれまで以上に真剣に取り組みます！

24　梅田 大雅

全国で準優勝できてヒットも打てたし楽しかったです。大淀ボーイズ戦では2ベースヒットを打てた事と、世田谷ボーイズ戦の時、ゴロをとれてアウトにしたところです。これから春の全国へパワーをつけてスイングスピードをつけたいです。守備範囲を広くしたいです。バッターではチャンスで打てなかった事です。

41 影山 寛生

全国大会で印象に残ったプレーは準決勝の6回裏にサヨナラのレフトオーバーを打った事です。春の全国大会ではもっと全員が積極的に打っていこうと思います。

5 高木双葉

６年生の最後まで諦めない一生懸命なプレーは、すごく感動しました。6年生は僕の目標です。僕は守備をたくさん練習して、上手くなる事。そして、大きな声を出して、しっかり集中する事です。

12　竹内心道

どの試合も接戦で、負けていても先輩達は諦めず戦っていた姿が印象に残り感動しました。春までにしっかり練習し全国制覇出来るように自分は少しでもチームの力になれる存在になり、少しでも試合に出れるよう練習します。